

令和5年度 学校経営構想

【学校教育目標】

豊かな心で 自ら学ぶ意欲をもった たくましい子どもの育成 [知・徳・体の調和のとれた子どもの育成]

教育課題

- ◆**確かな学力**
 - 一単位時間の内容の精選と主眼の明確化により、知識及び技能を習得できるようにする。
 - 思いや考えを書いてまとめ、伝えることを通して思考力、判断力及び表現力等を高める。
 - 自分の伸びや努力できたことを振り返らせ、次の課題への挑戦意欲を高める。
- ◆**豊かな心**
 - 自分の可能性やよさを知り、それを発揮しようとする心を育てる。
 - 互いのよさを認め合い、共に伸びていこうとする態度を養う。
 - めあてや目標をもち、諦めず努力する心を育てる。
- ◆**たくましい体**
 - 体育の授業で、運動の楽しさや喜び、達成感を味わわせる。
 - 始業前、中休み、昼休みの外遊びや縄跳びを奨励する。
 - 身近な生活における健康・安全について理解し、病気やけがのリスクの軽減に努めるようにする。

経営課題

- ◆**教師力の向上**
 - 子どもをひきつけ、確かな学力を育む授業力
 - 子どものよさや可能性を引き出し、自信をもたせる学級経営力
 - 確かな児童理解に基づく、配慮を要する児童への支援
- ◆**重点目標達成に向けた教育課程経営**
 - 単元の重点化、横断的な関連化
 - 重点目標達成に向けた週案作成
 - 特別支援学級の教育課程の充実
- ◆**組織力・経営参画意識の向上**
 - 育成2部会によるPDCAサイクルを生かした取組
 - 重点目標を意識した校務分掌上の取組
 - 危機管理体制及び働き方改革の組織的取組

【中期目標】

自分も 友だちも 大切に作る子ども の育成 (令和4年度～)

【重点目標】

集中して取り組む子どもの育成

- | | | |
|-------|----------------------------|-----------|
| <指標1> | 最後まで話を聴くことができる | 達成度：80%以上 |
| <指標2> | 自分の思いや考えをノートにまとめ、伝えることができる | 達成度：75%以上 |
| <指標3> | 時間いっぱい掃除に取り組むことができる | 達成度：80%以上 |
| <指標4> | 自分のよいところや頑張っていることを5つ以上言える | 達成度：70%以上 |

【経営の重点】

教育環境

- 言語環境の整備
 - ・自分の考えとその理由を書く活動の位置づけ
 - ・モデルとなるノートの掲示
 - ・学習コーナーの設置
 - ・朝の時間、チャレンジタイムでの取組
- 学習面・生活面の基盤づくり
 - ・「東宮永スタンダード」の共通理解と共通実践
 - ・生活目標として計画的な取組
 - ・「東宮永言葉」の積極的な意識づけ
 - ・児童会活動と関連させ主体的に
- 自問清掃の推進
 - ・目的意識の確認
 - ・自問ノートの活用
- 読書活動の充実
 - ・朝読、集団読書の実施
 - ・読書週間の設定
 - ・家読の習慣化
 - ・読書ボランティアの活用
- 可燃ごみ減量教育の推進
 - ・廃棄物対策課の活用
- 地域人材との連携・活用
 - ・郷土学習の推進
 - [先輩に学ぶ]
 - ・秀の山親方(元琴奨菊関) 長谷健
 - ・素読集、柳川人物伝の活用
- 教育相談の整備
 - ・早期対応
 - ・SC、SSW、子育て支援課 大牟田児童相談所

教育課程経営

- [編成]
 - 国語科及び算数科における単元の重点化、各教科及び領域等を横断的な視点で関連化、児童の思考力・判断力・表現力育成のための言語活動(ノート、聞く・話す)の充実
 - 当該学年の知識・技能の習熟・定着を徹底、学年を超えてスパイラルに繰り返し指導
 - 柔軟にPDCAサイクルを短いスパンでまわし、教育課程の関連化・重点化を図る
 - 特別支援学級は交流学級での指導を効果的に位置づけ、児童の実態に応じて必要な教科及び領域を選択し柔軟に教育課程の関連化・重点化
- [実施]
 - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - 言語環境の整備と言語活動の充実
 - 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動
- [評価]
 - 週案に記載した具体的方策や授業づくりの内容への取組に対して評価・改善
 - 単元テストの分析・改善(学期前後半ごとに・学校全体で市販テストの評価)
 - 全国学力・学習状況調査(6年)、県学力調査(5年)、チャレンジテスト(4年)標準学力調査(全学年)、新体力テスト(全学年)等の結果を分析し、具体的な授業改善の手だてを提示
 - 年間指導計画(進度表)に単元毎の結果時数を朱書きし、それまでの実践をもとに、学期途中や夏季・冬季休業中に付加・修正
 - 学校行事や活動の評価を行事終了後行い、学期ごとに見直し、次年度の計画案を作成

組織運営

- [指導体制の工夫]
 - 重点目標達成のための組織「学びづくり部」「生活づくり部」の育成部会を編成
 - ・一人一役制で責任をもった取組
 - ・推進計画に基づいたPDCAサイクル
 - ・重点目標を教室に届ける環境
 - 人材育成の視点で研修を実施
 - ・若手教師のニーズに基づくテーマ設定
 - ・教室訪問等に基づくテーマ設定
 - ・校内研修の充実と日常化
 - 近接学年による情報交換を活性化
 - ・家庭学習のさせ方、生徒指導の手法等
 - ・課題のある児童への対応の仕方
- [危機管理体制の構築]
 - 危機管理の徹底
 - ・子どもの安全確保
 - 全職員で全児童を指導
 - ・いじめ、不登校への組織的対応
 - ・問題行動への早期対応
 - 報告、連絡、相談の日常化
 - ・週案や日誌への記録
- [働き方改革の推進]
 - 会議の効率化
 - ・削減及び時間短縮
 - ・子どもと向き合う時間の確保
 - タイムマネジメント
 - ・取組の目的を共有
 - ・優先順位

【校内研修】

研究主題

数学的に表現し、主体的に学ぶ子どもを育てる 算数科学習指導～教材と出会う活動と伝える活動の位置づけを通して～

- 指導案審議・模擬授業の充実、ワークショップ型の事後協議会…板書や発問の吟味・参加者は全員発言